光山だより

２月号
発　行
大沢ふれあいのまちづくり
協議会広報部
http://www.ozo.jp

南海トラフ安否確認避難訓練

新春の候、大沢町の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、大沢防災福祉コミュニティの活動にご理解とご協力頂きまして、厚く御礼申し上げます。平成７年１月17日に私達の神戸が、まさかの大地震で被災し多大な被害をうけました。そして、個々の力ではどうしようもない事も、地域でのまとまりが有れば貴重な命が少しでも救われる事が、私達の教訓となりました。神戸に防災福祉コミュニティが発足したのもここからです。南海トラフ大地震が、近い将来に必ず起こるといわれています。明日に起こるかもしれません。数年後かもしれません。万一の事態にそなえるには、日頃の行動が大切ではないでしょうか。大沢防災福祉コミュニティでは、南海トラフ大地震安否確認・避難訓練を、毎年１月上旬に開催しております。今年で３回目となりましたが、万一にそなえ今後も継続致します。尚、今年の訓練は１月10日に開催をいたしました。コロナ禍での訓練は非常に難しく、特に高齢化が進む大沢町において避難所に町民が集中することを避けなければなりませんでした。

前もって避難者受付表を配布し、受付時の集中を回避しました。また訓練内容も従来から大きく変更しました。１つ目はおたすけガイドを全戸配布して３年になりますので、ガイドの有無を確認する為に持参頂きました。災害対策基本法４２条３項に基づき、神戸市地域防災計画に規定されたガイドは皆様のご家庭に有りましたでしょうか。２つ目は期限切れ消火器の入れ替えを提案させて頂きました。消火器は各ご家庭の貴重な防災品です。しかし、私を含めほぼ未使用の状態で期限が切れても気に留める事が無かったのではないかと思います。万一の時使用出来なければ後悔します。今回の提案で７６世帯の皆様が交換されました。約10年先まで未使用で済むことを、願っています。３つ目は各地域と本部をリモートでつなぎ、即座に各地域の状況を共有できるシステムを初めて開催しました。体調不良者の早期対応や、被災現場の状態を共有できる取組です。以上の内容での訓練となりました事をご報告致します。

最後にコロナウィルスに対して、意識の見直しが必要です。マスクをしているから大丈夫ではなく、うつさない、うつらない対策が必要です。主な感染経路である、目・鼻・口をマスクを持った手や公共の場でむやみに触らない意識をもって乗切りましょう。（安井　健十）

体験から学ぶこと

「明日の約束時間、１時間遅らせて下さい」須磨区のお客様から頂いた電話が私の運命を変えました。平成７年１月17日５時46分地響きと共に突き上げられました。２階の部屋にいた私は、即座に家内の姿を探しましたが、揺れが強く動けませんでした。最初はダンプカーでも我が家に突っ込んだのかと思いましたが、周りの家から女性の悲鳴が聞こえ地震と気が付きました。これはただ事でない、揺れが収まった時倒れたテレビをおこしてみて信じられない光景を目にしました。私が１時間早ければ通っていた高速道路が横倒れしている映像、しばらくは動く事すら出来ず、ただ家内のおなかにいる次男や家族を守る事だけが頭をよぎりました。当時豊中に住んでいた為、近所付き合いも無く避難所すら分かりませんでした。共助の重要性を痛感したのはこの時です。当時おなかにいた次男が昨年父親になりました。（K・Y）

＋10（プラス・テン）で健康寿命を伸ばしましょう！

普段から、元気に体を動かすことで、糖尿病、心臓病、脳卒中、がん、足腰の痛み、うつ、認知症などになるリスクを下げることができます。
今より10分多く毎日からだを動かすこと【＋10（プラス・テン）】をしてみませんか？

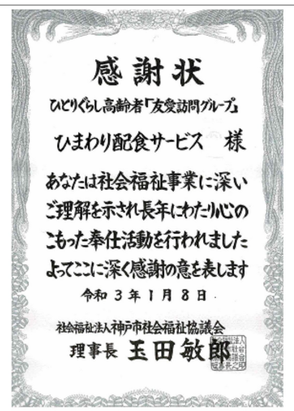
・テレビを見ながら「ながら体操」をする
　椅子の背もたれに手をかけて膝の曲げ伸ばし
　椅子に座ったまま、足を上げ下げして腹筋運動
・体操を日課にして、からだを動かす時間を確保する
・ストレッチをして、こころとからだをほぐしましょう
・いつもより10分多く歩きましょう

参考）健康寿命を伸ばそう！スマート・ライフ・プロジェクト

絵　中谷　弘枝

お知らせ

お年寄りの友愛訪問グループとして活動をしている『ひまわり配食サービス』の二つのグループが、神戸市社会福祉協議会より感謝状をいただきました。



感謝状

ひとりぐらし高齢者「友愛訪問グループ」
ひまわり配食サービス　様

あなたは社会福祉事業に深いご理解を示され長年にわたり心のこもった奉仕活動を行われましたよってここに深く感謝の意を表します

令和３年１月８日

社会福祉法人神戸市社会福祉協議会
理事長　玉田敏郎

俳句

孫みあぐ背丈となりて初参　三恵子
母からの手造り味噌の雑煮餅　正子
仲良きも長寿も家伝雑煮膳　ちが
お雑煮を食ぶに五感を研ぎ澄ます　純子
きよらかな牛舎差し入る初明り　弘枝

直売所情報

大沢ファーマーズマーケット

大沢の寒さを得ておいしくなったたちちみほうれん草や北神ねぎ等新鮮野菜、いちごが人気です。

すまいるふぁーむ藤本ではいちごの収穫作業、荷造りや世話のアルバイトを募集しています。

時給９００～１，０００円

土日も来ていただける方、大歓迎です。平日のみでも可能です。

詳細は、大沢ファーマーズマーケット（078）954-0087までお願いいたします。

いちご狩りプレオープン
1月11日（月）～3月18日

行事予定

２／１　光山だより編集委員会
２／５　民生児童委員会
２／12　婦人会定例役員会
２／18　自治連合会定例役員会
２／22　伝統芸能編纂委員会
２／25　光山だより配布

町民の動き

うぶごえ

12／29上大沢　大家　裕さん
　　漣（れん）くんを
１／８中大沢　中西正樹さん
　　隼仁（はやと）くんを

おくやみ

12／30中大沢　福本正野さん91歳
１／13上大沢　岡　昭子さん92歳

大沢町社会福祉協議会

中大沢の福本　清様より善意のご寄付をいただきました。有り難うございました。

大沢町 地域事務局 掲示板

緊急事態宣言発出中です

新聞やテレビで連日報道されていますように、新型コロナウイルス感染症の拡大が止まりません。色々な制約もあり日常生活には大変な不自由もありますが、今一度気をひきしめて乗り越えて行きましょう。

生物多様性ＰＪ

大沢小学校では12月16日に4年生の社会科学習のなかで、伝統芸能の伝承をしている中大沢の獅子舞について、実際に祭り関係者に来ていただき学習しました。生徒の皆さんにも地元に関心を持っていただくいい機会になりました。そこでこの度1月14日に3年生の皆さんが、大沢町の生き物についての学習を行いました。学校玄関の水槽にも展示されている絶滅危惧種のニッポンバラタナゴについては、地元講師の方を招いてパワーポイントを使いながらお話を聞かせていただきました。その他の生物や田畑を荒らす動物を含めた、自然環境について興味を持っていただけたのではないかと思います。

定住促進ＰＪ

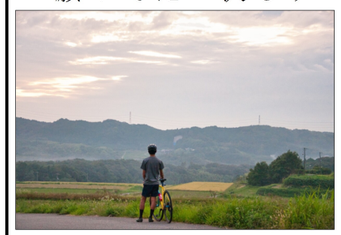
都会のとなりで里山ぐらし編と、サイクリング・ハイキング編の動画の撮影が無事終了し、引き続き編集作業中です、乞うご期待!!

都市との交流ＰＪ

大沢町魅力発見ガイドは只今編集作業中ですが、サイクリング・ハイキングの案内サインの設置場所とデザインが決定しましたので、2月中には設置に入れる予定です。年の初めにあたり、準町民の皆様に大沢ぐらしのテキストブック・バラタンチラシとシール・いちご狩りのパンフレット等をお送りしました。また昨年度の事業の振り返りを行っていく予定です。

吉田さんの地域興しコーナー 大沢町サイクリング＆ハイキング

大沢町と淡河町の道の駅を結んだサイクリングマップを作成中です。大沢町内は地域事務局と連携しハイキングコースもあわせてリニューアルを予定しており、町民の皆様の協力のもとコース案内の看板の設置準備も進んでおります。コロナで活動が制限されてしまうような現状ですが、密にならない屋外活動は推進されています。ファームサーカスでは今春レンタサイクルを開始します。電動アシスト付き自転車なので是非皆様もお試しください。私も一緒にサイクリングしますので大沢町のことをもっと教えていただければとても嬉しいです！よろしくお願いします。



大沢町準町民となって

私と大沢町の関わりは、民生委員児童委員の会長職に就いていた頃大沢地区会長の乗井幹雄さん（現大沢しあわせクラブ会長）との出会いです。人柄も温厚で民生委員退任後も、ゴルフ・旅行などを通じて親交を深めています。昨年、「おおぞうファン倶楽部」への入会の誘いを受け早速申込書を送付しました。折り返し準町民証缶バッジ・名刺などの関係書類が届き、準町民に登録されたことを実感しました。ゴルフの帰りはいつも少し遠廻りして棚田や山河神社など、泉台地区では見られない四季感あふれる大沢町の景色を車窓から眺めながら、簾地区から神付地区を通り抜けて北鈴蘭台へ。私は、昨年12月に「大沢ふるさと検定」に受験させていただきましたが多くのイベントなどを通じて住みよい町づくりに取り組まれている大沢町の準町民に登録された満足感でいっぱいです。これからは準町民の一人として、大沢町のファンを増やす努力を惜しまなくしたいと思います。コロナ禍の終息が見えない中、皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。

（泉台ふれあいのまちづくり協議会委員長　川瀬　愃久）

伝統芸能「だんじり編」編集終盤へ！

「獅子舞編」いかがでしたか。大沢町の獅子舞についてだけでなく、他地区の獅子舞とどのような関係にあるのか、大沢町の獅子舞のルーツにまで踏み込まれています。また、継承が難しくなってきている現状で次の世代へ繋いでこられた諸先輩の熱き思いや努力も行間から読み取れます。

編集委員長の松下行馬氏が私たちに問いかけられている大沢町の伝統芸能の歴史的・文化的価値の一端に触れられたことと存じます。

さて、本年の「だんじり編」の取り組みも新型コロナ感染の制約も受けながらも、編集作業が終盤を迎えています。

上大沢だけでなく、神付、日西原のだんじりについても、一歩踏み込まれています。

大いに楽しみにしておいて下さい。なお「練り込み」については編集上、来年の第３巻に回させていただきます。

（大沢町伝統芸能編纂委員会　北本義利）

尚、第1巻『獅子舞編』と刊行予定の第2巻『だんじり編』を販売いたします。ご希望の方は大沢出張所までお申し込みください。

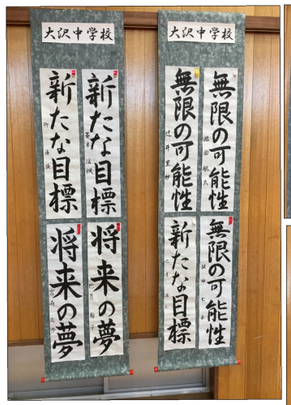
小学校地域伝統文化学習 獅子舞

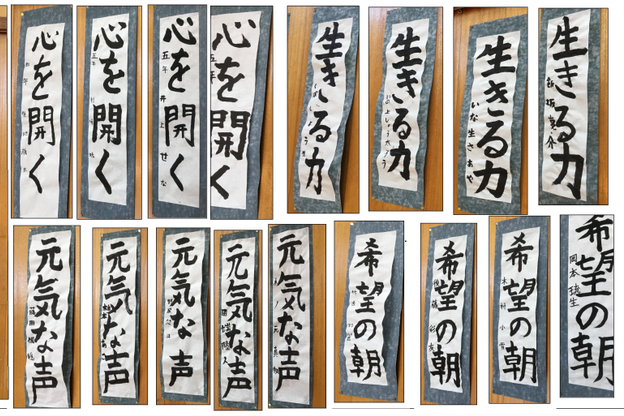
4年生は、社会科の伝統文化の学習で中大沢の「獅子舞」を学習しました。教科書には載っていません。いただいた冊子「大沢町の伝統芸能」で児童用の資料集を作成するところから始めました。

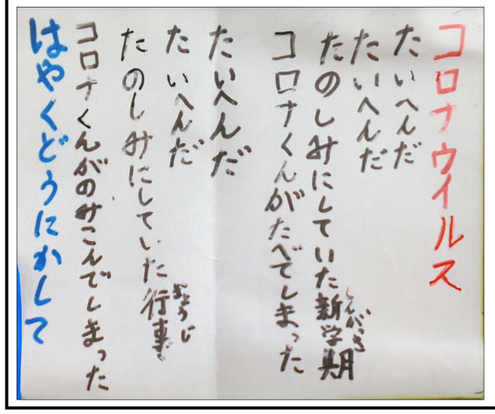
子供たちは興味をもって舞の種類やいわれ、歴史などを調べていきました。また、継承が難しくなった時に危機感を持ち熱心に指導された方やその熱意に応えて夜遅くまで練習された青年団の方々の努力があって今も続き、地域で大切にされていることを知りました。

実際に学校で舞を見せていただき、道具に触れ、笛を吹かせていただいたことは非常に貴重な体験となりました。また、「口伝いなので一旦途絶えると二度と復元できない。若い人が引き継いでほしい。離れて暮らしていても祭りのときには戻ってきて一緒に舞うのは帰ってくる場所があるから。」というお話を真剣に聞いていました。

子供たちは、「今年こそお祭りがあってほしい」「獅子舞を見るのが楽しみ」と言っています。これからも大沢の素晴らしさを感じ、大沢小が母校であることを誇りに思ってほしいと願っています。







4年生の児童が思いを書きました